

1 書面会議の意見募集による意見・質問について

・書面会議の意見募集期間(9月6日～14日)にいただいた意見・質問は、2名の方から下記の2件について、寄せられました。

意見・質問の内容と回答は次の通りです。

議案番号	意見・質問等(要旨)	回 答
2	・コロナ禍後対策基金は、2021年度活用がなかったが、活用について検討する学会内の機関は設置されていますか。	・理事会として、コロナ禍後検討班を設置し、「自治体学会DX戦略検討の論点を整理している。今後さらに検討を進める。
2	・財産目録の4の「三菱東京UFJ銀行」は「三菱UFJ銀行」に修正すべきではないか。	・銀行名は正式名称に修正する。

2 意見交換会における意見・質問について

・Zoom会議による意見交換会(9月19日)における意見・質問の内容と回答は、次の通りです。

議案番号	意見・質問等(要旨)	回 答
1	・昨年度の総会意見交換会で求めた、「HPの掲載基準」について報告がなかったが、その経緯、進捗状況について問う。日本学術会議の事案に関して、学会有志の声明が2本出された。しかし、それがHPに掲載されなかったことで遺恨が残った。HP掲載の基準がきちんとしたものになっていない。今後に向け、早めにお願する。	・昨年度にご意見をいただき、事務局で議論している。2021年度第2回評議員会で考え方についてお示したところであるが、基準についての検討は進んでおらず、そのものはまだ決まっていない。早急に検討し、お示しする。
1	・今後の大会開催に向けて。今大会のアンケートでは、WEB大会への変更をもっと早く決定してほしい、という声が多かった。自分自身が企画部会として関わっていて、結果的に仕方がなかったと考えているが、大会開催の意思決定の流れを会員に事前に示すことができれば良かったのではないかと。今後に向け、整理してお示ししたい。 ・「学術問題検討委員会の報告を受けて」については、項目としての漏れ、また、事業報告への記載漏れがあり、きちんと対応していただきたい。	・昨年度の川崎大会は、早い時期からコロナの感染拡大が見られたので、川崎市との協議を早めに行うことができた。今年度は、間際まで現地開催を前提に熊本市との協議を進めてきていた。今後は、現地自治体との協議、企画部会との協議、理事会との協議を踏まえ、どのような手続きを進めるかを早めに会員に示していきたい。 ・「学術問題検討委員会の報告を受けて」については、ご指摘の通りであり、お詫び申し上げます。第1号議案のⅡ-2-1(2)の内容に追記する。

<p>部会報告 (企画部会)</p>	<p>・大会開催については、政策研究交流会議との2本立てであることから現地との調整などに時間がかかるなど、学会プログラムを充実させる観点からも見直しができないだろうか。また、開催地の決定については理事長の負担が大きいことから、選定委員会のようなものを立ち上げて検討してはどうか。</p>	<p>・企画部会の中でもそのような議論が出ており、大会2日間の運営の仕方は、非常に大事なことである。今後、理事会、評議員会との議論も必要であると認識している。</p>
<p>部会報告 (地域支援部会)</p>	<p>・地域と研究者等を結ぶ自治体学会マッチング事業の具体的な内容をお伺いしたい。 ・2つの事業を1つにしたように感じる。PRの工夫が必要である。また、テーマにより研究者を公募するということであるが、具体的研究者の紹介依頼方式も検討してはどうか。</p>	<p>・この事業は、Zoom等のオンラインを利用して、地域性に関係なく各地域で自己研鑽に励む皆さんや地域と関係を持ちたい研究者の方々等を応援する事業で、自治体学会員が参加する勉強会・研究会等に、講演やアドバイスをしてくれる研究者・地域を紹介。また、研究のための地域を探す若手研究者に、地域を紹介する事業である。地域の申込条件は、自治体学会員が1名以上参加する5人以上のグループとハードルを下げており、会員拡大も目的としている。活用をしていただきたい。 ・ご意見は参考にさせていただく。</p>